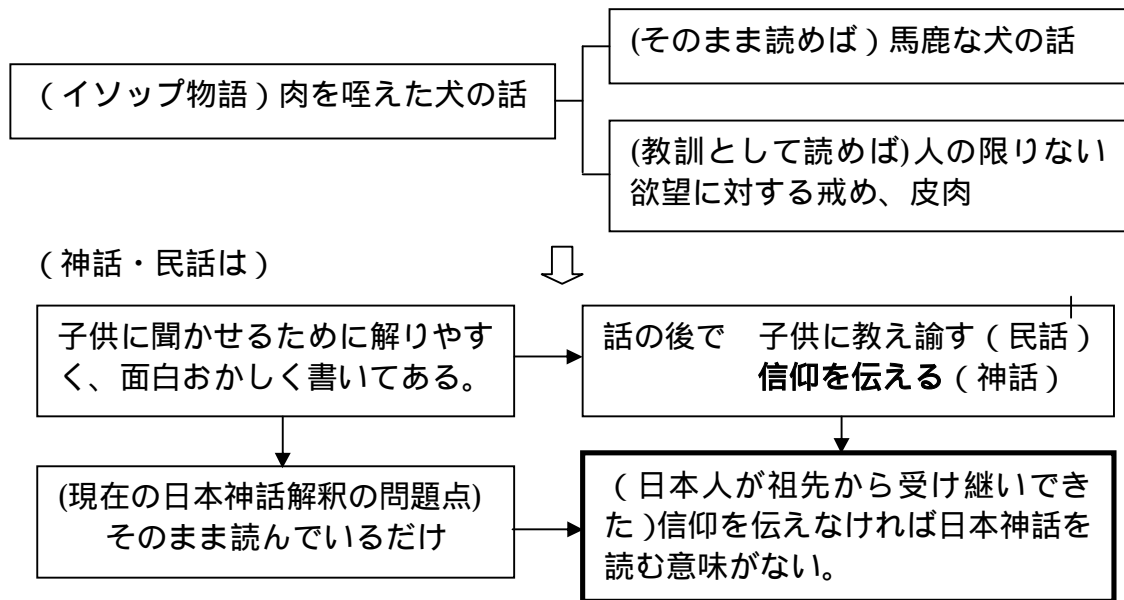


## 今回の目的

近年、「幼児虐待」や「生命の尊厳」を無視した犯罪が多発しているのは日本人の信仰心が急速に低下していることと無関係ではない。昔は宗教や信仰が人の行動を規制していたが（例えばバチが当たるという言葉は大人にも子供にも影響力を持っていた）それがなくなりつつある現在、生命軽視の風潮が広がるのは当然で、それは信仰心を持たない人が増えていることを意味している。つまり、親が子や孫に信仰を伝えられなくなったのであり、日本人が祖先より受け継いできた信仰が今、忘れ去られようとしている。ここに本質的な問題があり、解らなくなったら原点に帰る、今回のテーマ「日本神話」は日本人の信仰の原点に帰り、私達が祖先よりどのような信仰を受け継いできたのか、それを明らかにすることを目的とする。

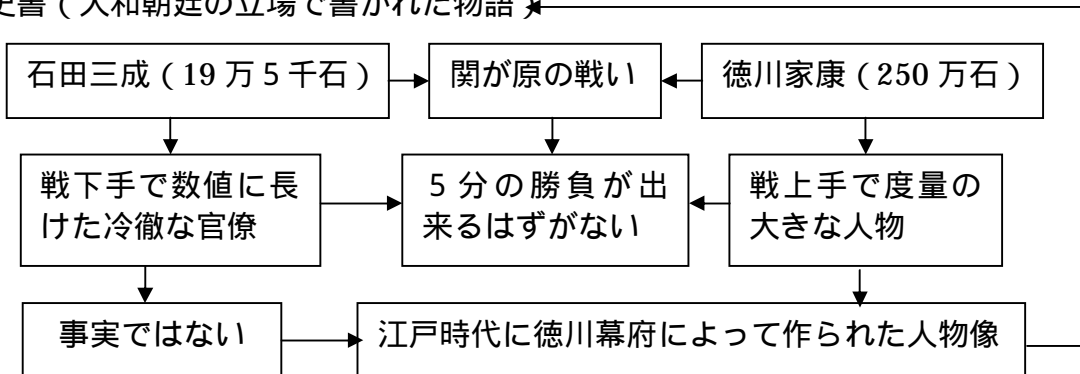
## 神話・民話をどのように読むか



## そのまま読むと何故いけないのか？

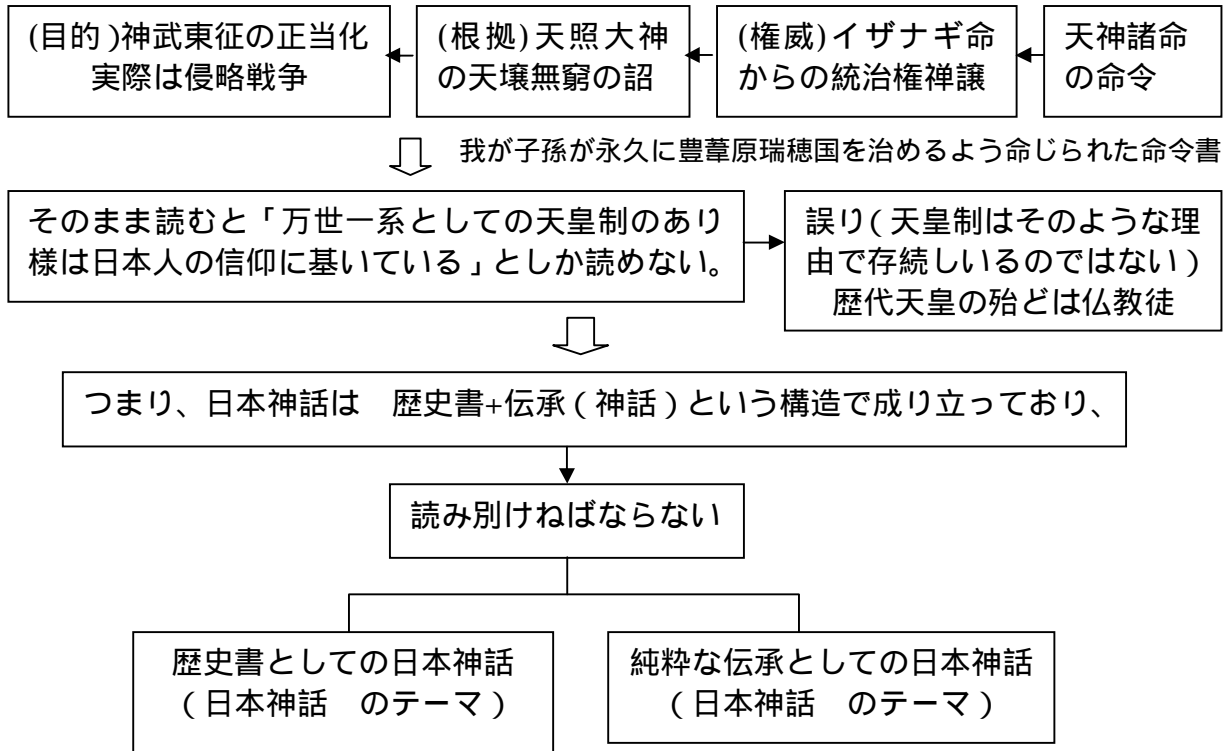
### 1. 日本神話の持つ特殊性

神話という言葉が使われているが、その内実は大和朝廷成立の経緯を記した歴史書（大和朝廷の立場で書かれた物語）

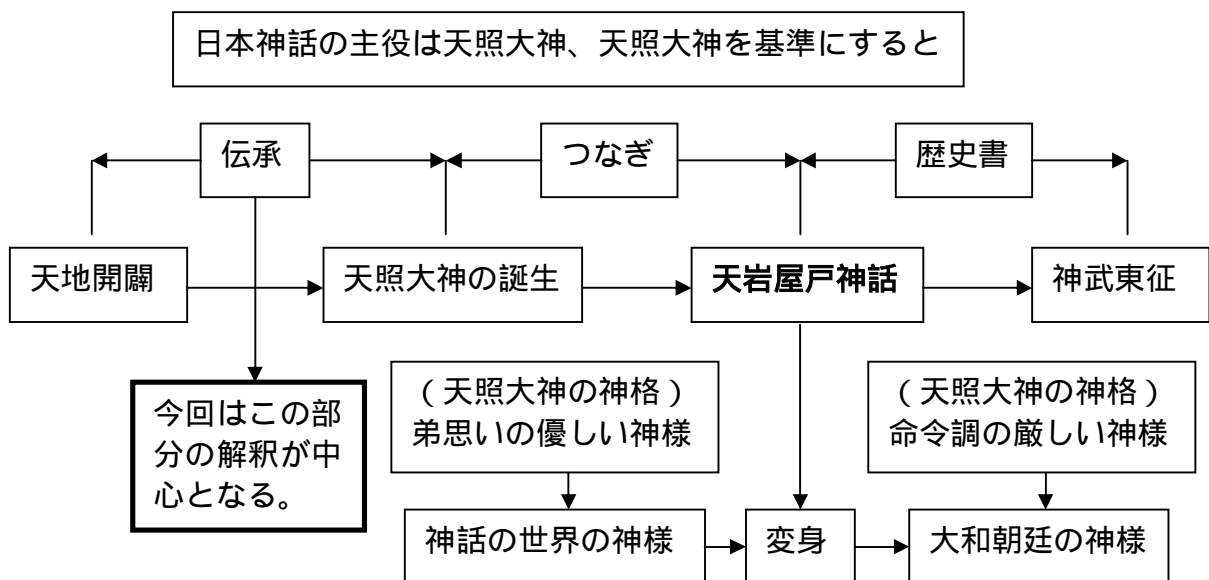


## 2. 日本神話の構造

(国造り)



どのように読み別ければよいのか？



## 日本神話のあらすじ

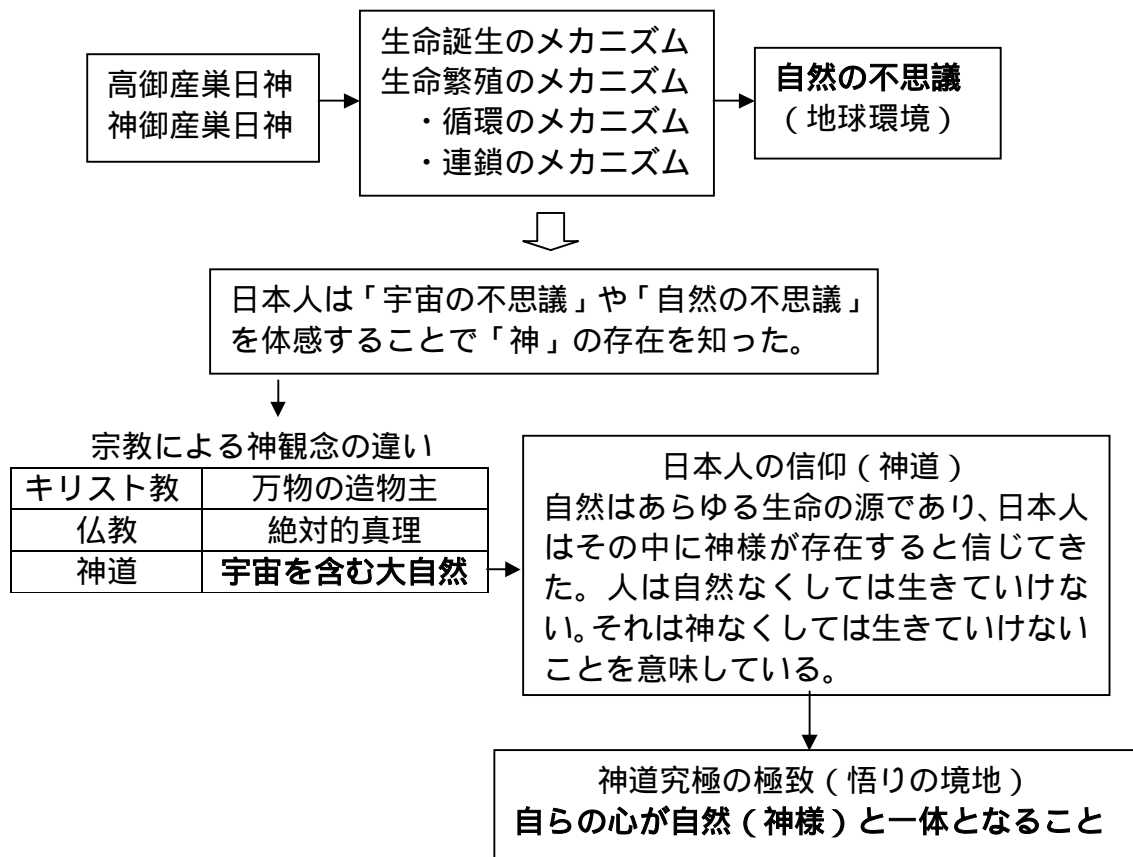
### 1. 天地開闢

最初に登場される神（始源神）：天御中主神（あめのみなかぬしのかみ）  
 高御産巢日神（たかみむすびのかみ）  
 神御産巢日神（かみむすびのかみ）

日本書紀の始源神：国常立尊（くにのとこたちのみこと）

天御中主神：天空（宇宙）の中心に存在する神（宇宙の不思議）

産巢日とは：ムス（生す = 生命の誕生） + ビ（秘 = 神秘）



### 2. 神代七代

その後、七代に渡って 13 柱の神々が次々に現れる。七代目がイザナギ・イザナミ命（順番では 16・17 番目）。それ以前の神々は単に名前が列記してあるだけで、さしたる意味を持たない。つまり、系図を整えるために後世に作られた神々とするのが現在の常識。（神武天皇から崇神天皇まで名前だけが列記されている天皇が続いているのと同じ手法がここでも採用されている）

### 3 . 国造り神話

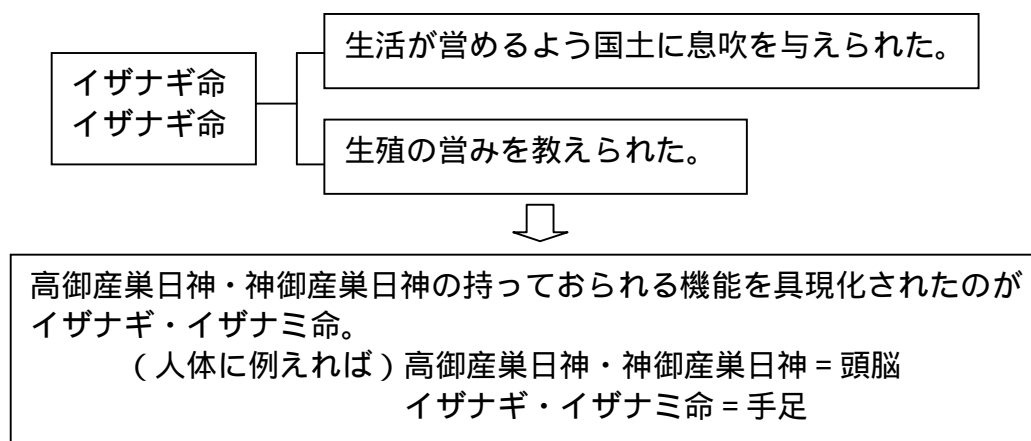
( 発端 )

天神諸命 ( あまつかみもろもろのみこと ) がイザナギ・イザナミ命に「この漂える国を修理固成 ( しゅりこせい ) するよう命じられた。

( 修理固成とは？ )

泡や塩が凝り固まった状態で大海原に浮遊していたものを固化・固定させ、国土に改造すること。干拓をイメージすれば解りやすいが、イザナギ・イザナミ命は何もないところに国土を造られたのではなく、ヘドロが堆積し干潟状態になっていたところを人が住み、生活が営めるよう改造された。

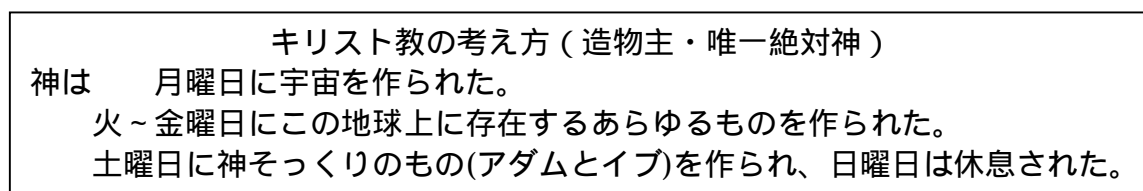
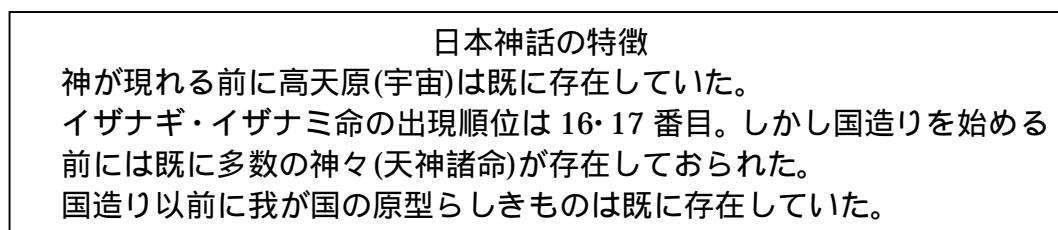
( 神々の誕生 )



( イザナミ命の死 )

火の神が誕生された時の火傷がもとで死去され黄泉国 ( よみのくに ) に赴かれた。

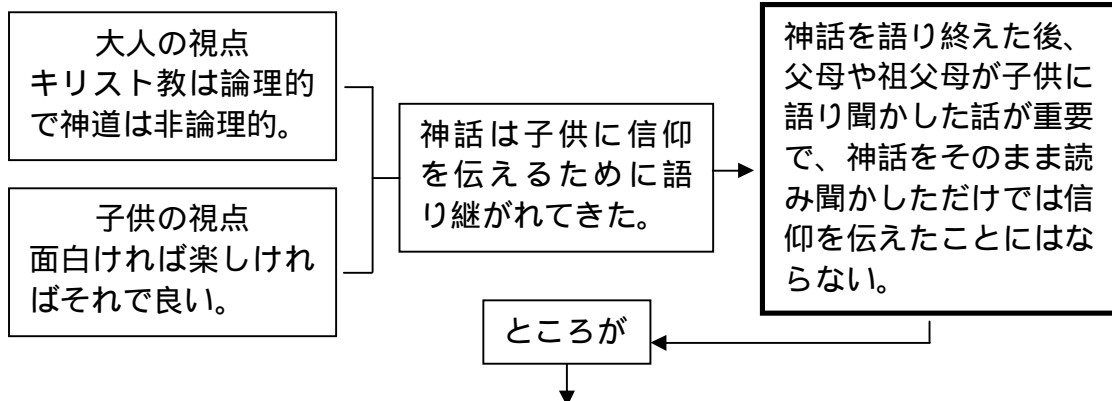
### 4 . ここまでの問題点の整理



キリスト教は論理性を重視する宗教。神道は非論理性（神秘）を重視する宗教。



日本神話をそのまま語るだけでは意味がない。



	明治維新	太平洋戦争	現在
神話教育		誤った神話教育を 徹底的に行った。	その反動で日本神話は 完全に無視された。
神話研究		天皇家の秘密を暴きかね ないとして禁止された	歴史研究の1資料にすぎず民 俗学的立場からの研究は皆無
神道家の姿勢		国策のアジテーター	全くの無力（方向性の喪失）

日本神話は語れても信仰は伝えられない。つまり、日本神話をそのまま読むだけでは「天皇陛下万歳！」という結論にしかならない。

## 5. 黄泉国（よみのくに）訪問神話

（あらすじ）

イザナミ命を恋しく思われたイザナギ命は黄泉国を訪問される。  
黄泉国は石で造られた堅固な建物で、その正面は頑丈な扉で閉ざされていた。  
イザナギ命の訪問を知ったイザナミ命は甚く喜ばれ、身支度を整えるまで決して中を覗かないよう懇願された。  
待ちきれなくなったイザナギ命が建物の中を覗いてみると、そこには腐乱した死体が横たわっており、その周囲はおどろおどろしい妖気で満ち溢れていた。  
（黄泉国とは「穢れ」の存在する所）  
この光景に驚かれたイザナギ命は黄泉国から元の世界（現世）に向けて一目散に逃げ帰ろうとされた。

この光景を見て激怒されたイザナミ命は黄泉国の軍隊を引き連れて黄泉国から脱出しようとするイザナギ命を追跡された。

やっとの思いで黄泉比良坂（よもつひらさか：この世と黄泉国の境界線）を越えられたイザナギ命とイザナミ命の間で以下の会話が交わされた（黄泉国の住人は黄泉比良坂を越えられない）。

イザナミ命：貴方がこのようなひどいことをなされるのなら、今後貴方の国の人々を毎日千人ずつ殺しましょう。

→ 死の起源

↓

キリスト教のいう「原罪」に相当。アダムとイブが禁断の果実を食べたために人は罪深い存在として生まれてくるようになった。

イザナギ命：それなら毎日千五百の産屋を建てて子供を産ませることにしよう。

→ 神の御加護

↓

神の御加護とは「死なない」というのではなく「死を乗り越える（災難や不幸を乗り越える）」という意味。

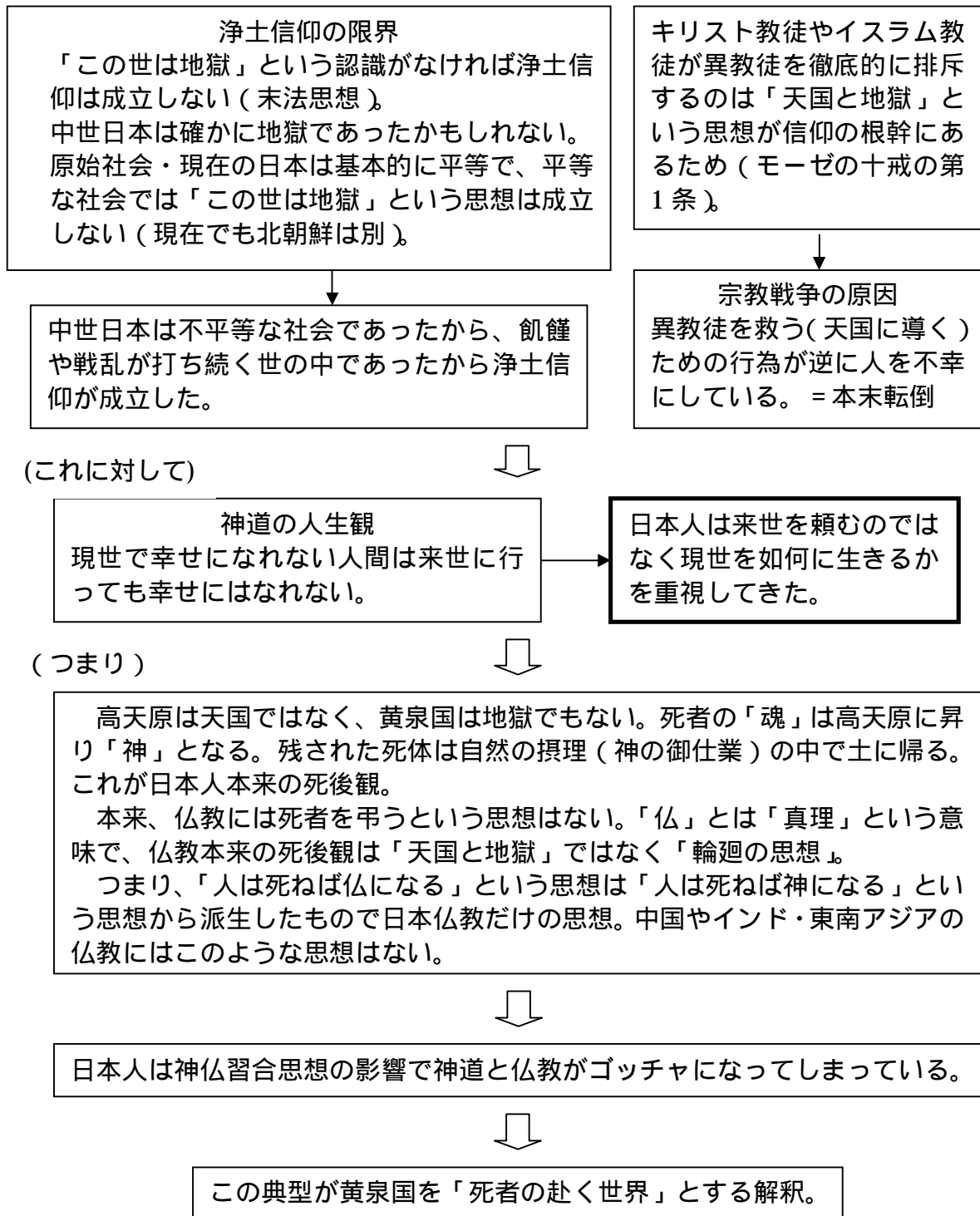
神道の来世観 ←

善人も悪人も全て高天原に昇り、そこで新たな人生をスタートさせる。善人は高天原で報われ、悪人は高天原で罰せられる。神の国とは云いながら高天原が現世と変わらない世界として描かれているのは来世を現世の延長線上にある世界として捉えていたため。

宗教による来世観の違い

	神道	仏教(浄土信仰)	キリスト教
来世	高天原のみ	極楽と地獄	天国(神の国)と地獄
死者の行先	全て高天原	善人 = 極楽 悪人 = 地獄	キリスト教徒 = 天国 異教徒 = 地獄
現世との違い	同次元	異次元	異次元

(ところが)



## 6. 禊祓（みそぎはらえ）

（あらすじ）

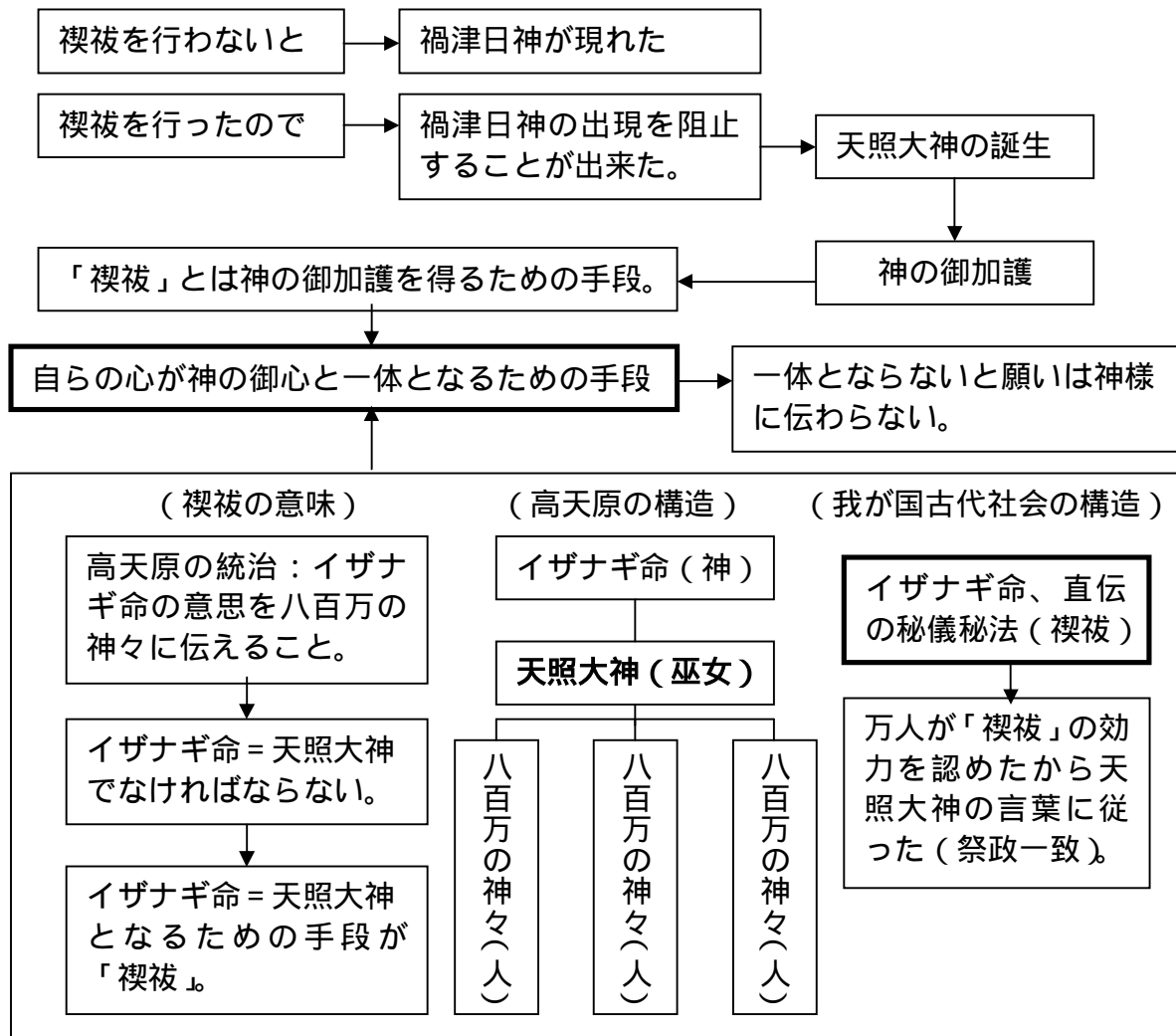
ようやく黄泉国から脱出されたイザナギ命は身についた「穢れ（けがれ）」を取り除くために筑紫国の橘の小戸（河口：海水と真水の交わるところ）の阿波岐原で「禊祓」を行なわれた。

イザナギ命が身につけていた衣服を脱ぎ棄てられた時に 12 柱の神が誕生された。川の中瀬で身を清められた時に、身に付いた穢れから禍津日神（まがつひのかみ）が現れそうになったので、これを直そうとしたところ直毘神（なおびのかみ）が現れた。 \* 禍津日神：この世で起こるあらゆる不幸や災難の元凶とされる神。

次に、水の底深く潜って身を濯がれた時に住吉の三柱の神が誕生された。

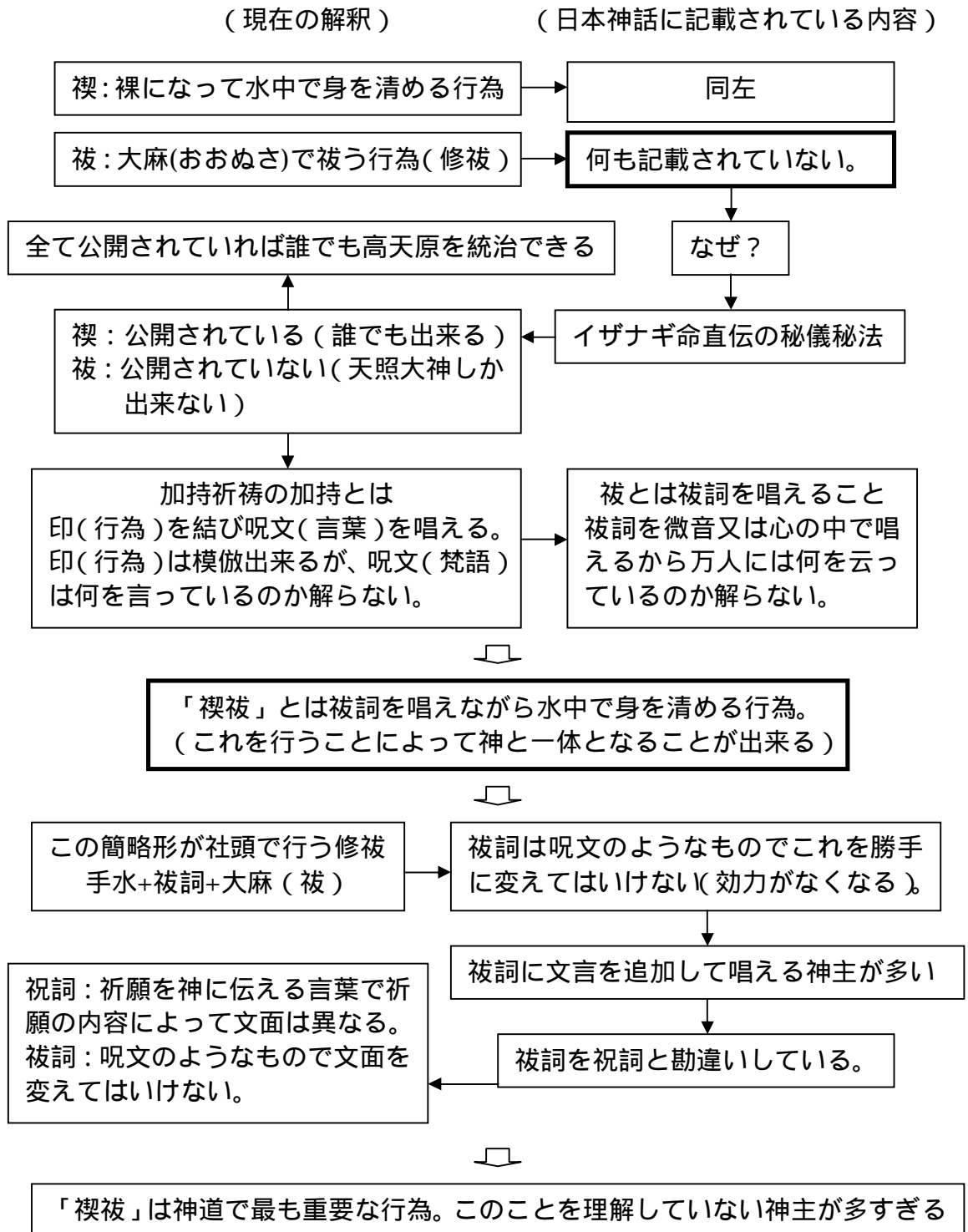
最後に目・鼻を洗われた時に天照大神・月読命・スサノウ命が誕生された。

その後、イザナギ命は天照大神に高天原を統治するよう命じられた。

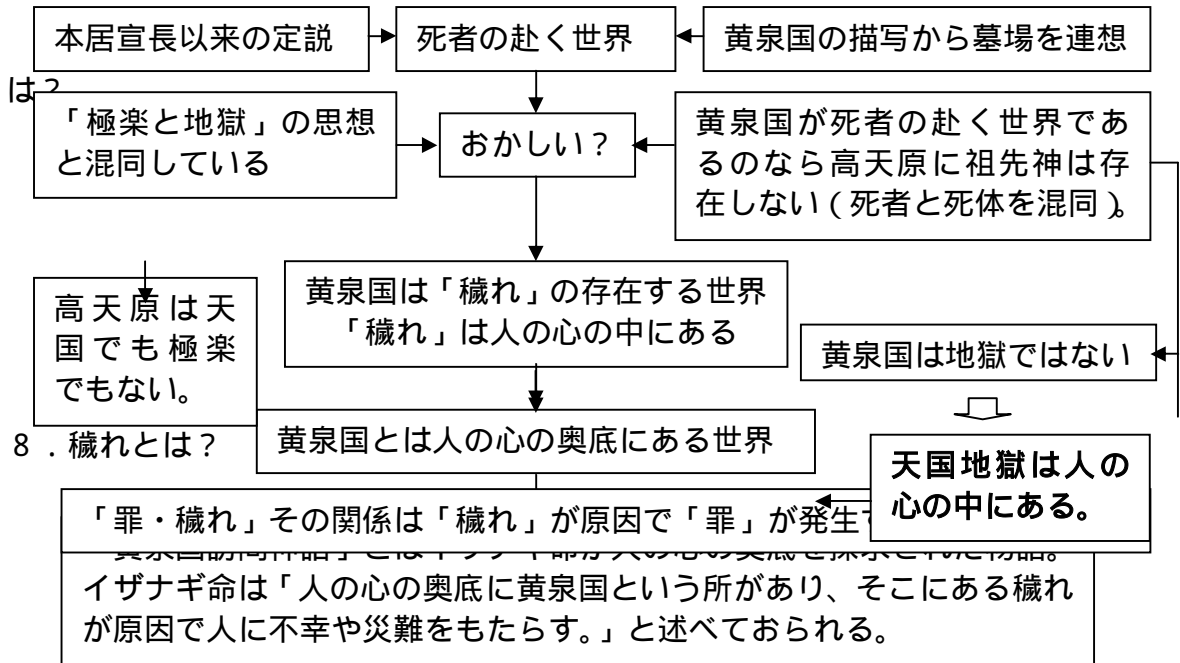




( 禊祓とは？ )



7. 黄泉国と 神道や信仰を人々に伝えられるはずがない。

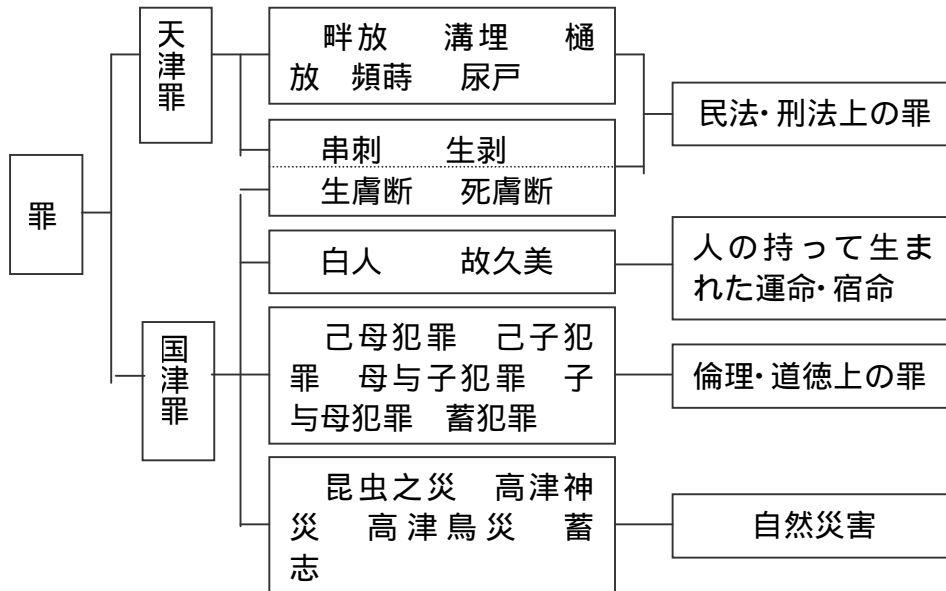


つまり、日本神話では「穢れ」があること自体を問題にしているわけではない。穢れは誰の心の中にもあるもので、黄泉国から脱出した「穢れ」が黄泉比良坂を越えたことが問題とされている。

日本神話の記述	その真意
黄泉国は堅固な石の建物で造られ頑丈な扉で閉められていた。	穢れが黄泉国から脱出しないよう封印してある。
イザナミ命が激怒されたのは？	イザナギ命がその封印を解いてしまわれたから。
イザナミ命がイザナギ命を執拗に追跡されたのは？	イザナギ命の衣服や体に取り付いて穢れが黄泉国から脱出しようとしたから。
イザナミ命の危惧	穢れが黄泉国から脱出すれば人に不幸や災難をもたらすから。
イザナミ命の捨て台詞(死の起源)	イザナミ命の危惧が的中した。
袂袂	イザナギ命が軽率な自らの行動に対して責任をとられた(黄泉国から脱出した穢れを取り除く方法を教えた)。

罪の分類（日本人が罪をどのように捉えていたか）  
（大祓詞に列記されている罪）

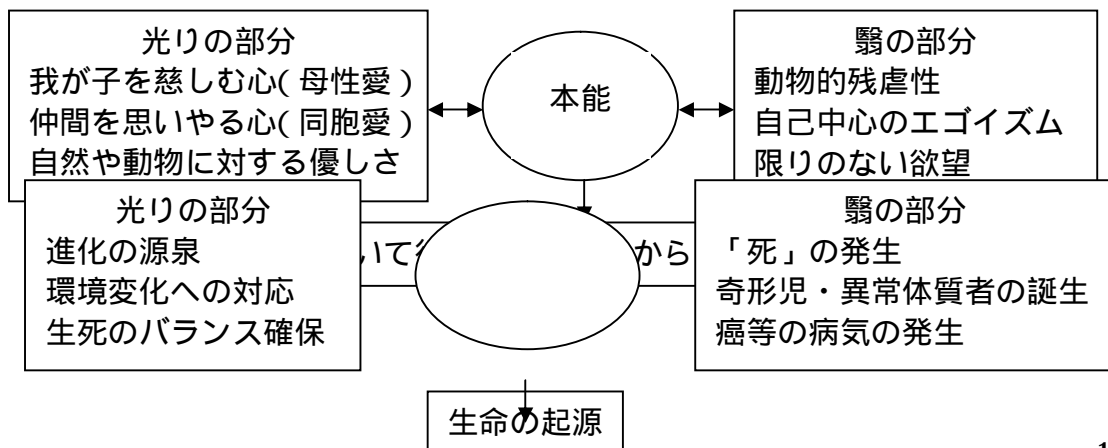
（罪の分類）



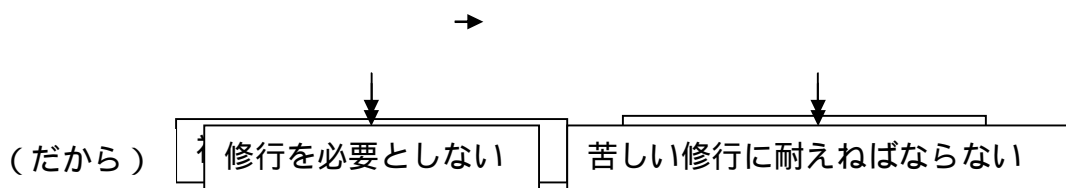
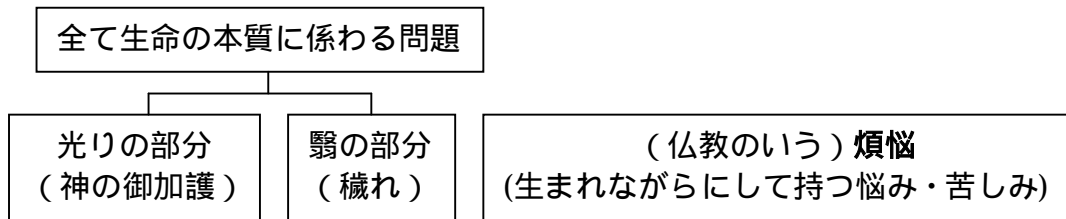
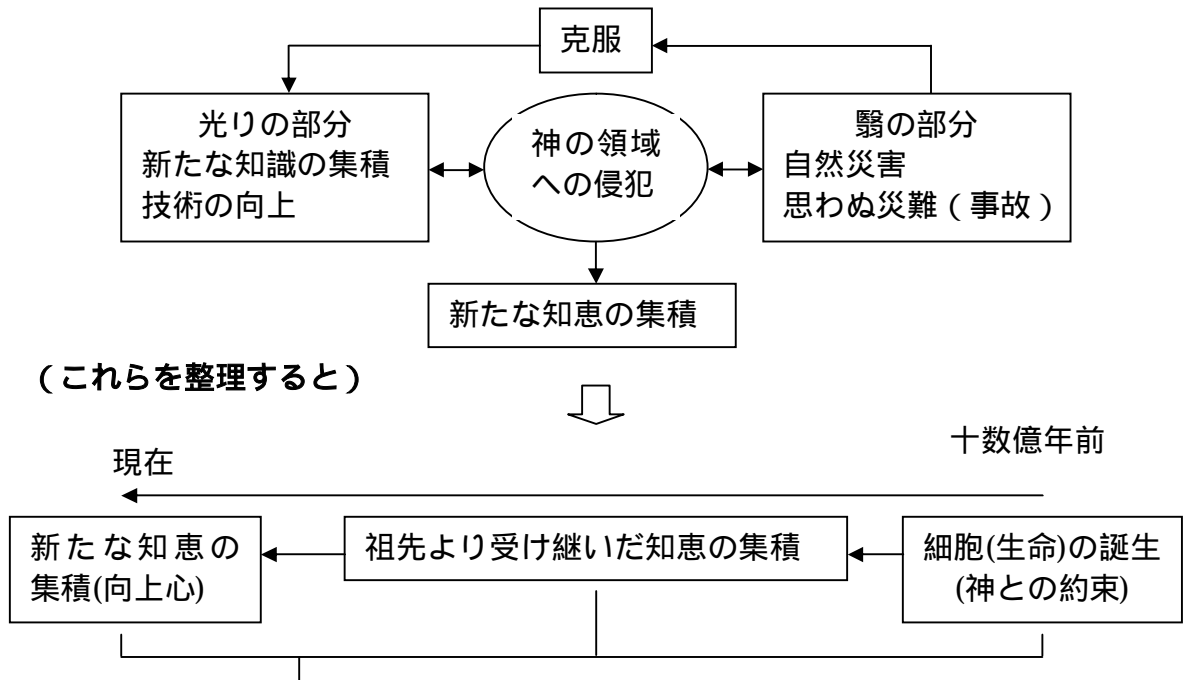
穢れの分析

罪	罪の原因（穢れ）	穢れの本質	
民法・刑法上の罪	人が心の奥底に持っている動物的残酷性やエゴイズム、物質的・精神的欲望	自己防衛本能 闘争本能	生命誕生以来、遺伝子に蓄積された生きていくための知恵。
倫理・道德上の罪	性的欲望	生殖本能	
人の持って生まれた運命・宿命	寿命・体質	日本神話にある原罪に相当	生命誕生時の約束事
自然災害 （神の怒り・警告）	人の奢り・慢心	神への挑戦（向上心）	新たな知恵の集積

光りと翳



↔ 細胞変異 ↔  
誕生と死



神道は翳の部分を抑え込み、光の部分  
を強調する宗教。

(つまり)

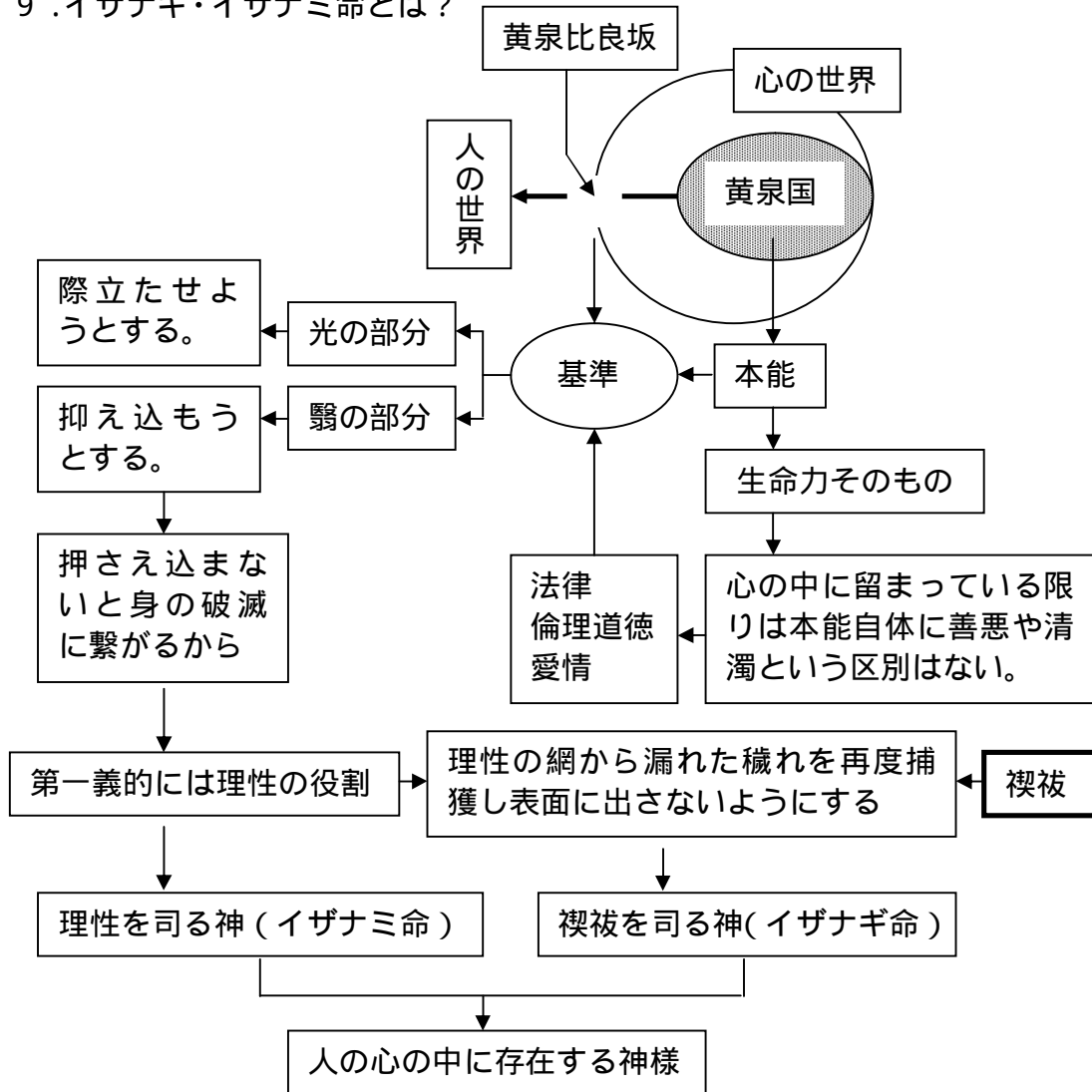
神道は生きるための宗教

煩悩を否定することは「死」を意味する

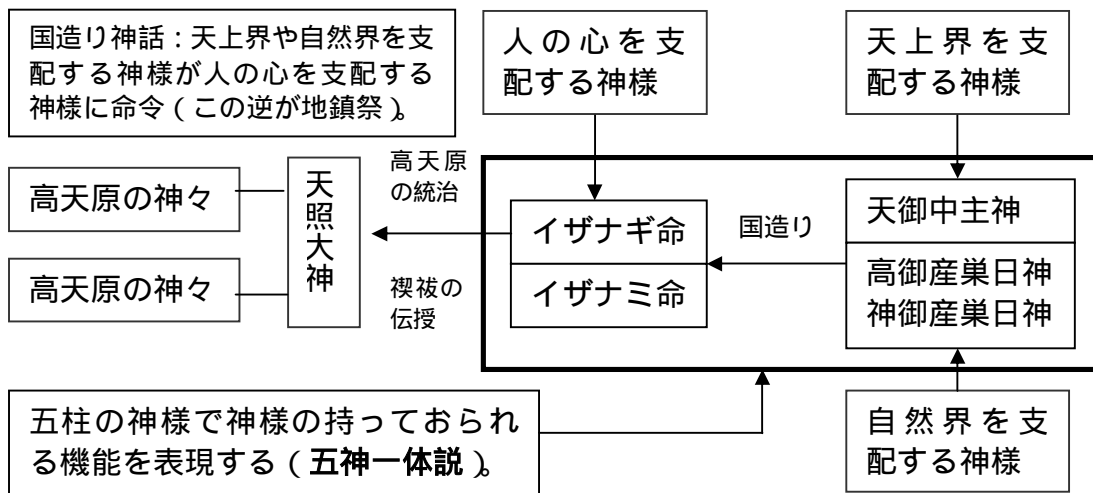
(仏教は翳の部分強調しすぎる)

仏教は死を希求する宗教

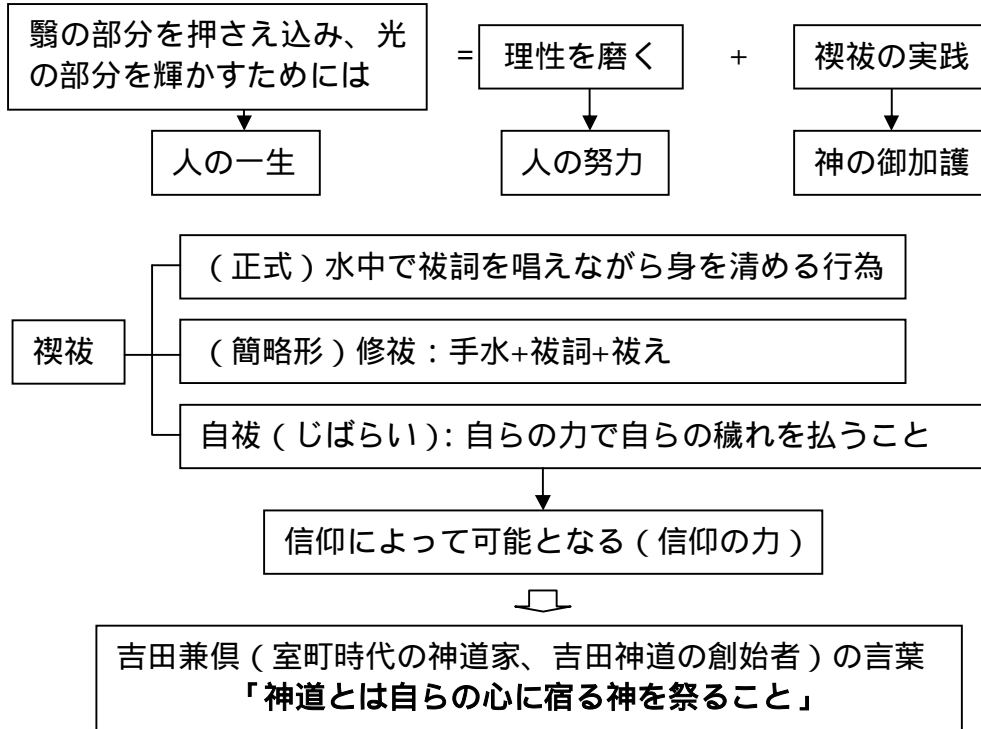
9 .イザナギ・イザナミ命とは？



12 .五神一体説



### 13 . 人は如何に生きるべきか？



# 神道講座 テキスト (第2回)

平成18年3月2日(日)

新熊野神社